

第1学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日（土）

授業者 玉森 みゆき

- 1、主題名 「うそやごまかしをしないで」 A 正直、誠実
- 2、資料名 「いたづらがき」（「新しい道徳」東京書籍）
- 3、ねらい うそやごまかしをしないで、素直にのびのびと生活しようとする態度を育てる。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	<p>1 正直になれない時を思い起こす。</p> <p>○うそをつきたくなったり、ごまかしたくなったりするときがありますか。どんなときですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・叱られそうなとき。 ・失敗したとき。 ・得をしたいとき。 ・競争をしていて勝ちたいとき。 <p>☆身近な経験を思い起こすことができるようにする。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> いたづらをするときのきもちをかんがえてみよう。 </div> <p>2 「いたづらがき」を読んで話し合う。</p> <p>○かばおさんは、どんな気持ちでいたづら書きをしたのでしょうか。</p> <p>○とらおが泣いて、誰がやったか話題になったとき、かばきちはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>○迷っているかばきちに、どうすれば良いか教えてあげましょう。</p> <p>◎ワークシートに書き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰も見ていないし、おもしろそう。 ・みんなが見たら、笑うから楽しそう。 ・とらおは、本当に泣き虫だからいいや。 <p>☆いたづらをするときの気持ちを考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とらおが泣くとは思わなかった。 ・こんな騒ぎになるとは思わなかった。 ・自分がやったとは言いにくい。 <p>☆正直、誠実に振る舞うことについて、葛藤する気持ちを話し合うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直にごめんねと言った方が良いよ。 ・正直に言うとも気持ちがすっきりするよ。 ・正直に言うとも許してくれるよ。 <p>☆正直、誠実に振る舞うことの良さについて考えを深めるようにする。</p>
終末	<p>3 うそやごまかしをしないで良かったと思ったことはありますか。</p> <p>◎ワークシートに書き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物を壊したとき、正直に言って謝ったら許してくれた。 ・けんかをしたとき、自分の悪かったことをちゃんと言えて、仲直りができた。 <p>☆自分自身を振り返り、自己の生き方についての考え方を深めるようにする。</p>

第2学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日(土)

授業者 山崎 隼輔

- 1、主題名 「みんなが使うみんなのもの」 C 規則の尊重(2年)
- 2、資料名 「きいろいベンチ」(「新しい道徳」東京書籍)
- 3、ねらい みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 導入の発問 ○みんなが使うものや場所を、どんな気持ちで使っていますか。 ・汚さないように使う。 ・きまりを守って使う。	☆学校生活や地域生活で使っているものについて写真や絵でイメージがもてるようにして、経験を思い出すようにする。
展開	2 文章を読んで考える ○ベンチの上から何度も何度も紙飛行機を飛ばして遊んでいるたかしとてつおは、どんな気持ちだったでしょう。 ・楽しい。おもしろい。 ・やっと晴れて気持ちがいい。 ・高く、遠くまで飛ばそう。競争しよう。 ○女の子はベンチに腰かけて、どんな気持ちになったでしょう。 ・いい場所で休めるな。 ・スカートが汚れて困った。 ・おばあさんが座らなくてよかった。	☆ICT機器で教材提示をして、場面の様子や二人の行動を整理しながら発問する。 ☆記述した内容は、白板に投影して全体共有できるようにする。 ☆遊びに夢中になってしまい、他の人の迷惑になることを考えていない二人の気持ちを考えるようにする。 ☆スカートの泥を払うおばあさんの気持ちにも触れる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○どんなことを考えて、たかしとてつおは「はっ」としたのでしょうか。 </div> ・悪いことをしてしまった。謝ろう。 ・怒られるから、知らないふりをしよう。 ・夢中になってみんなのことを考えなかった。 ・みんなが使うものなのに汚してしまった。 ・次の人のことを考えなかった。	☆隣の友達と二人で役割演技をして発表する。 ☆たかしとてつおの気持ちになりきって考え、演じる。 ☆板書に整理した多様な考えや感じ方を見つめて考えるようにする。
終末	3 振り返りの発問 ○みんなが使うものや場所を、大切にできたことはありますか。 ・みんなの教室をきれいにしている。 ・遠足でごみを拾った。 ・図書館で静かにできた。	☆みんなが使うものをみんなが気持ちよく使うためにできたことを考えるようにする。

第3学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日(土)

授業者 植松 修二

- 1、主題名 「よく考えて、正しいと思うことを」 (善悪の判断、自律、自由と責任)
- 2、資料名 「伝えるか」 (教科書「ひみつの手紙」改編)
- 3、ねらい どうすることがお互い気持ちよくなるかを話し合い、進んでよいことを行おうとする判断力を育てる。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 友達から「秘密」と言われた時の経験を思い起こす。 ○友達から「秘密だよ。」と言われたことはありますか。 ○どんな気持ちになりますか。	☆体験を想起し「秘密」と言われたときの困惑した気持ちを思い出す。 ・誰にも話してはいけないと思った。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 「秘密」と言われたらどうすることがよいのか考えよう。 </div> 2 「伝えるか」の話を聞く。 3 伝えるかどうかを考える。 4 どのように返信するか考える。 5 みどりさんはなぜショックを受けたのか考える。 6 誰が一番いけないと思うか、話し合う。 「○○さんが悪い。」「みんな悪い」「誰も悪くない。」	☆3人組の友達の一人からもう一人に対する愚痴を聞いたときの葛藤を知る。 ・ケンカになるといけないので伝えない。 ・秘密にはできないので伝える。 ☆相手を傷つけない返信を考える。 ☆悪い気持ちがなくても相手にとっては嫌な気持ちになることに気付かせる。 ☆誰も悪くはないのに方がない部分があることに気付かせる。
終末	4 感想を書く。 ○どうすることがよいのか、考える。	☆何人かに発表させ、友達の考えを聞いて自分の考えをさらに深めさせる。

第4学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日(土)

授業者 関口 美奈子

- 1、主題名 「正しいと思ったことを」 A 善悪の判断、自律、自由と責任
- 2、資料名 「全校遠足とカワセミ」(「新しい道徳」東京書籍)
- 3、ねらい 正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度を育てる。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	<p>1 善悪の判断をした経験を思い起こす。</p> <p>○ふだんの生活で、「これは悪いことだな。」と判断した経験はありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除をしないでおしゃべりをしていた。 ・友達が決まりを破っているのを見た。 ・友達を仲間はずれにした。
展開	<p>2 「全校遠足とカワセミ」を読んで話し合う。</p> <p>○おさむはどのようなことを考えて、「やっぱりだめだよ。」とたけしに言ったのでしょうか。</p> <p>○目も合わせずに、長いこと黙ったままのとき、おさむどのようなことを考えていたでしょうか。</p> <p>○木の陰から飛び出し、思い切り走り出したおさむは、なぜ気持ちが良かったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に叱られる ・決まりを破ることになる。 ・みんなに迷惑をかけることになる ☆判断の根拠を多面的・多角的に話し合う。 ・たけしは怒っているのか。言わなければよかった。 ・もう友達では、いられないかもしれない。 ・自分は間違っていない。分かってもらえる。 ・たけしが分かってくれた。 ・悪い道に進まなくて良かった。 ・正しいことを勇気を持って言うことができた。 ☆正しいと判断したことを、自信を持って行うことができたときの気持ちを話し合い、価値理解を深められるようにする。
終末	<p>3 自分生活を振り返る。</p> <p>○正しい判断で行動することができて、気持ちがよいと思ったことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほうきを振り回した仲のよい友達に注意した。 ・立ち入り禁止と書いてある所に入らなかった。 ・友達の悪口をいっしょに言わないで注意できた。 ☆場面、対象を広げて思い起こすようにする。

第5学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日（土）

授業者 寿村 敦子

- 1、主題名 「自分や相手の安全を考えて～情報モラル～」 A 善悪の判断、自律、自由と責任
- 2、資料名 「その遊び方、だいじょうぶ？」（「新しい道徳」東京書籍）
- 3、ねらい 自他の安全に気を付けて、自律的で責任のある行動を心がける意欲を育てる。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 インターネットを使うときに気を付けていることについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・やりすぎに注意して時間を決めている。 ・課金システムには気を付ける。 ☆インターネットに関する経験を想起し、教材の内容と関連して考えられるようにする。
展開	2 「その遊び方、だいじょうぶ？」を読んで話し合う。 ○ おさむさんは、どんな思いからゆづるさんの個人情報を使ってキャラクターを作ったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆづるさんもきっと喜んでくれるだろう。 ・ゆづるさんもたくさんの友達と仲良くなれるだろう。 ☆ゆづるさんの個人情報を使ってキャラクターを作ったおさむさんに共感し、一方的なおさむさんの思いについて考えるようにする。
展開	3 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎ ゆづるさんに、個人情報をインターネットに流すことは危険だと言われて、おさむさんはどんなことを考えたでしょう。それは、なぜでしょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・使い方を間違えるとインターネットは怖いし、個人情報を載せることを甘く見ていた。 ・ゆづるさんに申し訳ないことをしてしまった。 ☆おさむさんに共感し、個人情報を流すことの問題について多面的に考えるようにする。
終末	4 生活を振り返って話し合う。 ○ あなたは、自分やほかの人の個人情報を守るために、気を付けなければいけないと思っていることはありますか。 5 自分やほかの人の安全を守るために気をつけていることについて、教師の体験談を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の個人名や写真を載せないようにしている。 ・知らない人に自分や友達の住所や電話番号を教えないようにしている。 ☆インターネットに限らず、さまざまな場面で扱われる個人情報を想起する。

第6学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日（土）

授業者 堀内 宣

1. 主題名 「程よい生活」 節度、節制
2. 資料名 「あなたはどうか考える？」（「新しい道徳」東京書籍）
3. ねらい 自分でよく考えて、度を過ごすことなく、節度ある生活をしようとする態度を育てる。
4. 展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	<p>1 事前調査の結果を知り、話し合う。</p> <p>○「スマートフォンを持っているか」の結果は、どうだったでしょうか。見てみましょう。 →スマートフォンを持っている人が多い。 →自分はもっていない。</p>	<p>☆「欲しい」と発言した児童には、なぜ欲しいのか理由を聞いておく。</p>
展開	<p>2 「あなたはどうか考える？」を読んで話し合う。</p> <p>○スマートフォンを「持たせない」「持たせる」と2人の保護者の異なる意見を読んでどう思いますか。 →親に心配をかけたくないから、持たなくてもしかたがない。 →危険なのは分かるが、持たないのは無理だと思う。 →フィルタリングをすることと、マナーを守って使うことが大切だと思う。</p> <p>○対立する2つの意見について、それぞれどう考えましたか。みんなで話し合ってみましょう。 →僕も家で約束を決めている。厳しいかもしれないが、約束だからしかたがない。 →中学になって成績が下がったという子もいるからある程度のルールはあったほうがいいと思う。</p>	<p>☆スマートフォンを6年生が持つことについての保護者の対立する意見をきっかけとして、児童の立場で話し合うようにする。</p> <p>☆「持たない」「持つ」という2つの考えのどちらが良いかを決めるための話し合いではなく、それぞれのメリット、デメリットを確認していく。</p> <p>☆フィルタリングをして「持つ」場合にしても、我が子を危険な目に遭わせたくないといおう親の心配を受け止められるようにする。</p> <p>☆きまりをつくるかどうかについての親の意見をきっかけに、自分の立場で話し合うようにする。</p>
終末	<p>3 スマートフォンやパソコンなどに使うときに気をつけることを守っているかどうかを振り返る。</p> <p>○スマートフォンと賢く付き合うためには、どんなことが大切だと考えますか。 →確認できない情報を信じたり、拡散したりしない。</p> <p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>☆これまでに学んできたことも生かして、情報機器の使用で気を付けることを再確認する。</p> <p>☆節度のある利用が安全にもつながり、重要であることを話す。</p>

こすもす学級 第1学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日(土)

授業者 高久 享子

- 1、主題名 「自分たちでルールを作ろう」 A-(3) 節度・節制
- 2、資料名 「ネット社会の歩き方」 (JAPET&CEC)
- 3、ねらい 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで規則正しい生活をする

4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	<p>1 ゲームやスマホ, インターネットをどのように使用しているのかを交流する。</p> <p>○「家で、どんなゲームをしていますか? タブレットや携帯でどんなことをしていますか?」</p>	<p>☆夏休みの日記を参考に、思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、ゲームしている。 ・YouTube が楽しい。 ・ドリルパークもがんばったよ。
展開	<p>2-1 映像教材を視聴し、「家に帰ってから寝るまでの間にしたことを覚えているかな」の場面で止め、自分の生活を振り返る。 (映像「ネット社会の歩き方」自分たちでルールを作ろう) 0:52 でストップ</p>	<p>☆黒板掲示用カードを用意し、学校から帰宅してからの生活を書き出し掲示、時間の使い方を視覚化する。</p> <p>☆時間の感覚の曖昧な児童には、保護者に協力してもらう。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この中で、やりたいことや楽しいことはどれですか? やりたくないことはありますか?</p> </div>	
終末	<p>2-2 最後まで視聴した上で、「家に帰ってからやるべきこと (やりたいこと)」と「順番」について考える。</p> <p>○やりたいこととやりたくないことの順番を考えてみよう。バランスはどうか。</p>	<p>☆家に帰ってからやるべきことと、やりたいことについておさえ、取り組む順番について自分で考える。</p> <p>☆楽しい時間と、嫌な時間のバランスをとることも大切な事だということをおさえる。</p>
	<p>3 スマホやインターネット, ゲームを使う時のルールについて自分で考える。</p> <p>○ルールを守れるようにどのような工夫が考えられますか?</p>	<p>☆優先順位をつけて考えたことをもとに、メディアと付き合う時のルールについて考える。</p> <p>☆考えたことを交流する。</p>

こすもす学級 第2学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日(土)

授業者 八木下 恵美

1、主題名 「やるべきことの順番を考えよう」 A-(3) 節度・節制

2、資料名 「朝も昼も夜も遊びたい」

3、ねらい SNSとの付き合い方を考え、規則正しい生活をする。

4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 ゲームやテレビ、インターネットなどをどのように使用しているのかを交流する。 ○「昨日学校から帰った後、寝るまでにしたことはどんなことですか。」	・テレビをみた。 ・タブレットで動画をみた。 ・ゲームをした。 ☆絵カードを用意する。
展開	2 映像教材を視聴し、ゲームする？宿題する？の場面で止め、自分だったらどちらを選ぶのか、考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">主人公は宿題をしたが、ゲームを選んでいたら、どのようなことが起こるでしょうか。</div>	・宿題を先にやってから、ゲームをする。 ・ゲームがやりたいから、やる。 ☆一人一人がどのように考えるかを聞く。
	3 主人公は宿題をしたが、ゲームを選んでいたら、どのようなことが起こるか想像させる。	・次の日起きられない。 ・宿題をやっていなくて、困る。 ☆自分の生活の経験から考えられるようにする。
	4 家に帰ってからやるべきこと(やりたいこと)と順番について考える。 ○やりたいこととやりたくないことの順番を考えてみよう。	・帰ったらまず宿題を終わらせて、その後遊ぶ。 ・時間を決めて、遊ぶ。 ・時間を決めて、テレビやゲームをする。 ☆家に帰ってからやるべきことと、自分がやりたいことについて確認する。そして、取り組む順番について考える。考えやすいように、ワークシートを用意する。
終末	5 ゲームやテレビ、インターネットなどを使う時のルールについて交流する。	☆優先順位をつけて考えたことを交流する。

こすもす学級 第3・4学年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日（土）

授業者 内野 巧貴

- 1、主題名 「みんなが楽しむために」 B 礼儀（3・4年）
- 2、資料名 「トラブル続出！？オンラインゲーム」（NHK for School いじめをノックアウト）
- 3、ねらい 言葉遣いや動作に気を付け、トラブルが起こらないようにしようとする態度を養う。
- 4、展開

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 本時の流れを確認する 2 「気持ちのよいかんけい」を考える ○トラブルが起こらないように心掛けていることは何ですか。 ・煽らない。 ・悪口を言わない。	☆本時の見通しをもてるようにする。 ☆反対にトラブルが起こってしまう場面を思い出してみるよう言葉がけを行う。 ☆これまでにトラブルが起こらないように心掛けていることがあれば、発表の場を設ける。
展開	3 映像を見て考える ○どうしてオンラインゲームでトラブルが起こってしまうのでしょうか。 ・悪口の言い合いでけんかしてしまう。 ・煽られて怒ってしまう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">○トラブルが起こってしまったときの気持ちを考えてみましょう。</div> ・勝って嬉しい気持ち。 →熱中してついやってしまう。 ・イライラする。 ・悲しい気持ち。 →嫌な気持ちになる。 ・心配になる。 ・やめてほしいって思う。 →見ている人も嫌な気持ちになる。 ○オンラインゲームをしながらみんなが楽しくいられるようにするためにどのようなことに気を付けたいと思いますか。 ・勝っても嫌な気持ちにさせないよう喜ぶ。 ・悔しくても悪口を言わないで、限界が来たら自分からやめる。	☆映像を途中で止め、実際に起こっているオンラインゲームにおけるトラブルについて予想しながら見るよう促す。 ☆児童に同じような経験がある場合は、自分のことについて発表するように言葉がけを行う。 ☆児童を3人1組のグループに分け、勝って煽り行為をした人、負けて暴言を言った人、近くにいるお家の人の3役でロールプレイを行う。 ☆ロールプレイ後、それぞれの役割をやってみて感じたことの共有や、ワークシートへの記入を行い、それらをもとに気を付けたいことを考えられるようにする。
終末	4 「気持ちのよいかんけい」を振り返る ○「気持ちのよいかんけい」とは何でしょう。 ・トラブルが起こらなくて、みんなが楽しい関係だと思う。 5 授業者の説話を聞く	☆導入段階での意見をまとめた板書を見て考えるように言葉がけを行う。 ☆些細な言葉遣いや動作が、相手の心に残ってしまうことがあることを話す。

こすもす学級 5・6年 道徳科 授業の流れ

令和5年9月9日（土）

授業者 丸尾 忠司

- 1、主題名 「正直であること」 A 正義
- 2、資料名 「ジョージ・ワシントンとアル・カポネ」
- 3、ねらい 誤った行動を取ったとき、正直に謝ることが正しく勇気のある行動であることを理解する。
- 4、展開 （本授業は、情報リテラシーの大切な素養として、＜正直・正義＞を位置づけ、計画した。）

	学習活動と主な発問(○)	予想される児童の反応(・)指導上の工夫(☆)
導入	1 2人の人物について、学習することを知る。 ○この人は誰？	☆絵を提示 ・外国人、船長さん・・・？ ○ジョージ・ワシントン ○アル・カポネ
展開	2 ワシントンの少年時代のエピソードを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「お父さんごめんなさい、ぼくがやりました」って、一体、何をしたんだろう？ </div> ① 少年ジョージは、お父さんが大切にしていた桜の木を切ってしまった。 ② 父さんは大変驚き、「ジョージ、誰がやったか知らないか？」とたずねた。 ③ ジョージは、「ぼくがやりました。父さん、ごめんなさい」と正直に言った。 ④ お父さんは、正直に謝ったことを喜び、ジョージを許した。 3 カポネの少年時代のエピソードを知る。 ① 少年時代、とても貧しく、空腹のあまり店からパンを盗んだ。 ② 店の人に捕まったとき、アル・カポネはどうか。 ③ アル・カポネは、「知らない。」を通して、その場をごまかした。 ④ 味をしめた少年アルは、その後も悪事を重ねていった。 ○ 二人はどんな大人になっただろう？ ー少年ジョージは「正直であることが大切だ」とお父さんからの教えを守り、アメリカの最初の大統領になった。アメリカ人に「素晴らしい大統領はだれですか？」と聞くと、必ず名前が挙がるうちの一人。 ー少年アルは、その後も悪いことを続け、やがてシカゴという大きな街の一番のギャングになってしまった。最後は警察に捕まって裁判にかけられ、刑務所に入れられてしまった。	☆4つの段階を予め書いて、すぐはれるようにしておく。 ○ジョージは何て答えたか、予想する。 ・知らない。わからない。 ・見たことない人が来て、切っていた。 ・自分が、切った。 ○アルは何て答えたか、予想する。 ・知らない。わからない。 ・見たことない人が来て、盗んでいった。 ・自分が、盗んだ。 ・ジョージはとても立派な大人、アルは悪い大人。 ・ジョージは優しい大人、アルは意地悪な大人。
終末	3 どんな大人になりたいか、考え、発表する。	

